

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2024.11.02

No.052



2024年10月31日開催

八地申
第4号
団体交渉

その5

武蔵野運輸区発足後の 労働条件・業務改善を求める申し入れ

8. ダイヤ改正に関する業務がPTのみで行われており、現場で働く社員の意見が反映されないことから、より良いダイヤにするため全希望者が参加できるダイヤ改正勉強会を開催すること。

回答：現時点で、社員から意見を集約するための事前のダイヤ改正勉強会を開催する考えはない。
なお、社員の意見等を参考にしつつ、より良い行路となるよう作成している。

9. 乗り継ぎ時間が短く、徒歩時分を引くと運輸区滞在時間が10分に満たないものが多い。安全を担保するうえで十分な乗り継ぎ時間にする。また輸送混乱などで、運輸区に戻りたくても戻れない状況になった時等のために、ホーム詰所を設置すること。

回答：乗務員割交番作成規程に基づき行路を作成している。なお、東所沢駅構内に乗務員詰所を整備する考えはない。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none">● 現場社員の意見を聴く機会はないのか？	<ul style="list-style-type: none">➢ ダイヤ改正のプロジェクトチーム（PT）に支社は入らない。武蔵野運輸区は発足前の意見集約をMicrosoft Formsで行ったと聞いている。今後の意見集約はどうかは申し上げられない。意見があればPTの支援者に声を上げてほしい。
<ul style="list-style-type: none">● 意見集約を行ったのにアンバランスな行路が出ているのは何故か？	<ul style="list-style-type: none">➢ 全体最適の考えの下で作成しているが、どうしてもアンバランスは出てしまう。それはPTも把握しており、今後最適な行路を検討していくと聞いている。
<ul style="list-style-type: none">● 個別に意見集約するのではなく、全体で議論するべきだ。	<ul style="list-style-type: none">➢ 意見はPTメンバーや支援者に話して。意見を踏まえて改善等の検討をする。
<ul style="list-style-type: none">● PTによる議論だけにさせず、希望者が名乗れば意見をやる場を設けてほしい。	<ul style="list-style-type: none">➢ （開催するよう）指導はしないが、職場では開催しないと聞いている。意見があれば支援者へ話してほしい。
<ul style="list-style-type: none">● 支社として勉強会を開催しない、でいいのか？	<ul style="list-style-type: none">➢ 規定上の時間は確保されているが、「十分」とは個人の考える十分とは限らない。
<ul style="list-style-type: none">● 異常時になると乗継時間が短くなってしまい、本区に戻る暇がない。戻る必要があるのか？	<ul style="list-style-type: none">➢ 異常時に対応可能な社員が一目で把握できるメリットがある。異常時でも本区に戻ってもらうことを基本としている。
<ul style="list-style-type: none">● 『人としての最低限必要な時間』を確保してほしい、と言っている。食事も摂れず、本区に戻りたくても戻れない社員もいる。	<ul style="list-style-type: none">➢ 規定上は時間を確保しているが、『人として』は個人差がある。休むタイミングは人それぞれで決めてもらえばいい。異常時に行路通りに動けなければ、当直に指示を仰いでほしい。
<ul style="list-style-type: none">● 武蔵野統括センターになれば、東所沢駅も職場の一部になる。そこを待機場所にするのか？	<ul style="list-style-type: none">➢ この場では申し上げられない。

つづく...

現場裁量で進めた結果、問題が起きている現実がある！
支社がノータッチでよりよい労働条件などあり得ない！